



☆ 新型コロナウイルス対策！

ご協力ありがとうございます！ 引き続き対応を！

新型コロナウイルス感染防止のため、3月3日（火）より15日（日）までの13日間を臨時休校としておりましたが、県内で感染者がでたことにより、感染拡大を防止するために、再度、臨時休校を24日（火）まで延長することとなりました。（25日からは春休みです）

先週の中頃には、佐賀県の方針により、登校を再開することで準備をしておりましたが、報道の通り、残念ながら、子供たちと再会することなく春休みになってしまいます。

しかし、感染予防対策として求められる対応は継続しているので、卒業式は、6年生と保護者（発熱がないことを前提とする）、教職員、教育委員会代表のみの参加で実施します。（来賓のご臨席もお断りをしています。）晴れの旅立ちの日を、みんなでお祝いすることができずに心が痛みますが、学校行事として予定通り行いますので、ご理解いただければと思います。

約3週間の臨時休校で、学習の方も進度が遅れています。どうしてもできなかった単元がある場合は、学年ごとに引き継ぎを行い次年度に授業を行いますので、教科書の保管も併せてお願いします。

修了式もできない状況なので、保護者の皆様には、学校に通知表などを受け取りにきていただくことになりました。24日（火）と25日（水）の8:00～17:30を設定しています。よろしく、お願いします。どうしても、時間に都合が、つかない場合は連絡をお願いします。

まだまだ、新型コロナウイルスの感染拡大については予断を許さないところです。

今後も引き続き、発熱がないか検温をすることや体調が悪いとき無理をさせないこと、手洗いうがいの徹底など、これまで通りの対策を行っていただくようお願いします。

なお、感染症の予防とはいえ家の中にじっとしているのは、体にも良くないということで、時間をみつけて体を動かすことも推奨されています。室内の密集したところでの運動は、避けた方がよいのですが、余裕のあるところでは、簡単に体を動かし、ストレスを発散することも大切なようです。



1年生のチューリップも咲いています

☆ 入賞おめでとうございます！

西日本読書感想画コンクールの九州山口地区審査が行われ、5年1組の大久保 杏南さんが見事、入選しました。

5年1組 大久保 杏南

「行ってみたい ペンギンホテル」

☆ 佐賀県学習状況調査結果をもとに！

平均正答率と県との比較

		国語	社会	算数	理科
4年	本校	61.6	79.3	55.6	73.6
	県	62.6	74.1	55.6	71.4
	おおむね達成	62.1	58.8	60.0	57.7
5年	本校	66.1	65.6	65.5	58.6
	県	65.0	68.5	65.4	65.9
	おおむね達成	62.4	59.3	60.2	57.9
6年	本校	73.1	55.8	57.0	63.7
	県	74.3	62.4	58.8	69.9
	おおむね達成	61.8	58.6	59.3	56.8



たいへんおそくなりましたが、12月に行われた佐賀県学習状況調査の結果をお知らせします。

国語、社会、算数、理科の4教科を受験し、個別の結果は、すでに個人に配布しています。

4月に全国学習状況調査が行われ、その結果をもとに学校では内容を分析し、継続して取り組むべきことを検討し実践してきました。

例えば、全ての教科において、「自分の考えを分かりやすく書いたり説明したりする場を設けて、授業を進めること」「まとめや振り返りの時間を取ること」などを全職員で実践したり、各学期に家庭生活改善週間の期間を設け、家庭学習目標時間の達成率の向上を目指したりしてきました。

そのような取組を続けたことからほとんどの子供たちが自分の考えをノートに図や式、言葉を使ってまとめるようになり、自分の言葉で説明できるようになりました。さらには、家庭学習目標時間の達成率は、学年によっていくらか差はみられますが、平均が85%程度となり、宿題の提出率も高まりました。

ここで提示している平均正答率をみると、佐賀県平均より劣っている教科もありますが、出題者の期待値であるおおむね達成については、5年生は全て上回っており、4年生と6年生も半分の教科が上回っています。

また、各教科を分析する中で、知識・理解や考え方、思考判断といった観点ごとのデータは提示していませんが、算数の考え方は、どの学年も県の平均と同じか上回っていることがわかりました。算数を中心に、全校で取り組んできたノートの書き方や説明の仕方を工夫させたことがよい結果に繋がったと考えられます。

しかし、各教科の中で覚えなければならない言葉やその使い方、内容など、知識・理解の観点のポイントが低くなっており、学習内容が確実に理解できていない児童がいることもわかりました。

さらには、与えられた情報（文章・表・グラフ等）を読み取り、その情報をもとに考えることが苦手であることもわかりました。すぐに改善できるポイントではありませんので、授業はもちろん、読書の仕方を工夫するなど授業以外の部分も含めて、取組を考えたいと思います。

まだまだ個人差も大きく、それぞれの学習習慣の定着を図る取組と、学習を支える基礎となる知識の理解と定着を図る取組を継続していく必要があることは間違いありません。どちらの取組も継続、反復していくことが大切であると考えています。

今後も、授業の中での実践と家庭での家庭学習の徹底を通して、保護者とも協力しながら、若基小の子どもたちの学力の向上を図りたいと考えています。

明らかになった課題は次年度に引き継ぎ、子供たちの学力の定着を目指したいと考えます。